

14. 鳥獣被害防止対策とジビエ利用の推進

令和9年度予算概算要求額 19,932百万円（前年度 9,982百万円）

<対策のポイント>

農作物被害のみならず農山漁村での生活に影響を与えるシカ・イノシシ・クマ等による鳥獣被害の防止のため、**広域的で効果的・効率的な鳥獣被害対策やジビエ利用拡大への取組等**を支援します。また、森林における**効果的・効率的なシカ捕獲の取組**を実施、支援します。

<事業目標>

- 野生鳥獣による農作物被害の総産出額に対する割合（0.24%（被害額：140億円）〔令和11年度まで〕）
- 捕獲鳥獣のジビエ利用量（4,000t〔令和11年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 鳥獣被害防止総合対策交付金

19,574百万円（前年度 9,900百万円）

- 鳥獣被害防止総合支援事業
シカやイノシシ、クマ、サル等への対応など「被害防止計画」に基づく**地域ぐるみの取組**や、**強固な侵入防止柵の整備**、**自治体の体制強化**、**ジビエ利用拡大等**を支援します。
 - 鳥獣被害防止都道府県活動支援事業、都道府県広域捕獲活動支援事業
都道府県が主導して行う鳥獣被害防止対策、広域捕獲に係る取組等を支援します。
 - 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業
被害を及ぼす野生鳥獣の捕獲活動に係る取組を支援します。
 - シカ・クマ特別対策等事業
シカの**集中捕獲**や、クマの**捕獲対策**等を体制整備と併せて支援します。
 - スマート捕獲等普及加速化事業
スマート鳥獣害対策と農地周辺での加害性の高い個体の重点的な捕獲対策等を行うモデル地区の**整備・横展開**を支援します。
 - 鳥獣被害対策基盤支援事業
被害対策推進のための人材育成、ジビエ利用推進のためのハンターや処理加工施設向けの研修、ペットフードへの利用促進、消費拡大に向けた情報発信等を支援します。
- 【関連】鳥獣被害対策タスクフォースへの支援
交付金の各メニューにおいて、**対策の高度化に取り組む重点支援対象市町村**に対し、**重点的に支援**します。

〔総合的な鳥獣対策・ジビエ利用推進への支援〕



〔鳥獣対策の取組〕

- 広域柵・強固な柵の整備**
集落全体を防護する広域的な柵や、維持管理負担の軽減に資する物理的に強固な柵の整備を支援

広域柵
物理的に強固な柵
- スマート捕獲等の普及の加速化**
ICT等を活用した、被害情報等を踏まえた農地周辺の加害性の高い個体の重点的な捕獲を支援

センサーカメラ
重点捕獲

〔ジビエ利用推進の取組〕

- 捕獲から消費まで各段階の取組を推進**
ジビエ利用の拡大に向け、ジビエ施設への搬入から消費の各段階での取組を推進

（捕獲段階）（処理・加工段階）（流通・消費段階）
ジビエハンター研修の実施
処理加工施設等の整備
未利用部位のペットフード利用
観光等新たな需要喚起
- 新たな流通体制整備の推進**
新たな流通・販売体制の構築、整備に向けた取組を推進

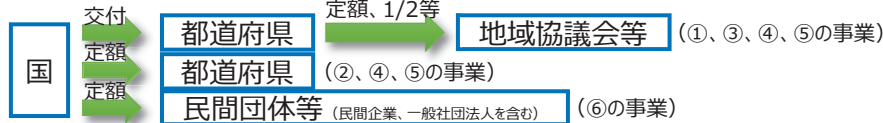
処理加工施設
食品加工卸
小売業

〔クマ対策の取組〕

- クマの被害対策に係る総合的な取組を支援

クマ捕獲の強化
クマ撃退スプレー
対クマ電気柵補強（トリップライン）
緩衝帯の整備

<事業の流れ>



2. シカ等による森林被害緊急対策事業

359百万円（前年度 82百万円）

林業関係者と地域関係者が連携し、シカ捕獲ポイントの特定調査など、**効率的な捕獲に必要な取組**を実施、支援するとともに、**再造林地でのシカ捕獲・防護手法の実証**支援や国有林野における**国土保全のための広域的なシカ捕獲**を実施します。

※国有林においては、直轄で実施

【お問い合わせ先】

<事業の流れ>



- 捕獲ポイントの特定調査
捕獲個体の効率的な埋設処理
再造林地での捕獲・防護手法の実証
国有林野における捕獲
- （1の事業） 農村振興局鳥獣対策・農村環境課（03-3591-4958）
 （2の事業） 林野庁研究指導課（03-3502-1063）